

木質系震災廃棄物等の活用可能性調査

【100百万円】

対策のポイント

東日本大震災からの復興に向けて、被災地において木質系震災廃棄物等のエネルギー利用への活用可能性に関する調査を実施します。

<背景/課題>

- ・東日本大震災からの復興に向けて、新しいまちづくりを推進するに当たっては、膨大な木質系震災廃棄物をエネルギー利用するとともに、その処理終了後は、未利用間伐材等を活用してエネルギーを持続的かつ安定的に供給する仕組みを構築することにより、林業の活性化や雇用の確保等を図ることが重要な課題です。
- ・このため、被災した木材産業や漁協等の共同利用施設等が電気や熱を安定的に利用し、円滑な事業運営を行うことが可能となるよう、木質系震災廃棄物等のエネルギー利用への活用可能性に関する調査を実施します。

政策目標

木質系震災廃棄物や未利用間伐材等を活用し、持続的かつ安定的にエネルギーを供給する体制の構築を目指します

<主な内容>

被災地域等における熱や電気の需要把握、木質系震災廃棄物や未利用間伐材等の供給

- ・利用可能性を的確に把握し、太陽光等の自然エネルギーと組み合わせるなど地域のニーズに合った熱・電供給システム等の提案を行う実行可能性調査を行うとともに、地域関係者等の合意形成に向けた取組を進めます。

〔委託先：民間団体〕

〔お問い合わせ先：林野庁木材利用課（03-6744-2297（直））〕